



撮影 ● 石崎 義高

エッセイ 長井真隆

「大根飯に思う」————— 表紙 2

特集：公開討論会「とやまの21世紀を考える連続フォーラム」から

21世紀への意識革命————— P. 5

TRIP[®]県政[®]

畜産試験場————— P. 10

PIN UP TOYAMA

下村加茂神社「ブリ分け神事」—— P. 12

「雪、みんなのテーマ」

～昭和61年度総合雪対策実施計画の概要～ P. 14

ふるさとみてある記

利賀村————— P. 20

シリーズ：とやまの水⑨

魚津駅前のうまい水————— 表紙 3

子供のころの吹雪の日、学校から帰ると、祖母は、私を玄関先に立たせて「寒かったらう」といって、マントの雪をほうきで払ってくれた。

「夕食は大根飯だから、いっぱい食べて体を暖めな」ともいってくれた。囲炉裏の火があかく燃えている。自在鉤には大きな鉄鍋が吊るしてある。大根飯のつゆを作っている。囲炉裏の隅のかまどでは、大根飯が炊き上がって、蓋の隙間から白い湯気を散らしている。ご膳につくと、母はしゃもじを垂直に差し込んでよそう。お米と、細かくかいた大根を、交互に重ねて炊くので、しゃもじは垂直に差す。カワハギのつゆをたっぷり掛けて頂くのである。薬味はネギとユズ。熱いうちが最高なので、フウフウして食べたものだ。

大根飯はわが家の昔からの料理。今でも一冬に数回作るが、近年になって小さな異変が起きた。頭のついたカワハギが、必要なときに入手しにくくなったことだ。つゆは頭と肝が肝心。それがなくては味にはならない。だから二、三日前にお魚屋さん注文しておくのだが、その日の天候まではよめない。暖かい日にならうものなら、大根飯の雰囲気は壊れてしまう。

エッセイ—お刺身文化とお頭づき文化

大根飯に思う

富山市科学文化センター館長 長井 真隆



頭がないのはカワハギだけではない。お刺身もパックに入っている。ワサビもペリもお醤油もついている。最近では器までも模様づきになった。つと葉に包んだ過去とはまさに隔世の感。生活様式ががらりと変わったのだ。そして物の見方、考え方や価値観までも変わったのである。現代は便利志向。目的に合わない部分は捨ててしまう。これは食文化だけではなく、衣食住全般についてもいえることだ。私はこれをお刺身文化と呼んでいる。

昔はお魚をまるごと一本買った。例えばフクラギ。身はお刺身、焼き物や煮物などに。骨と皮と頭は味噌汁に、あるいは大根や里芋などとじっくり炊いた。カマは塩焼き、胃袋はてり焼き。一匹を無駄なく使い、そして多様な味を創出した。このような多様さも、当時の衣食住全般についていえることだ。そこには創造があった。これをお頭づき文化と呼んでいる。

お刺身文化が進めば進むほど、逆にお頭づき文化が大切ではなからうか。自然があり、手作りがあり、触れ合いがあるのだ。また、創造の喜びもある。

大根飯のお茶碗の、そのぬくもりに、遠い昔の囲炉裏のころを懐かしく思うのである。

〈年頭の辞〉

新しい年を迎えて



富山県知事
中沖 豊

明けましておめでとうございます。輝かしい新春を県民の皆様とともに暮きたいと思えます。あと十余年で二十一世紀を迎えますが、人類が現在ほど世界的な規模で相互に依存しあいそしてあらゆる分野での激しい変化に直面した時代はありません。

このような時代は、一面ではこれまでの経験や画一的な発想のみでは対応しえない不確実の時代であります。他面では飛躍のための大きな可能性を秘めた時代でもあります。

今日、私達に課せられた任務は、地球的視野をもって時代を先見するとともに、果敢な行動力をもって県民誰もが誇りと生きがいを実感することのできる素晴らしい郷土の創造をめざしていくこととあります。

幸い本県は、県民の皆様が積極的なご尽力により、新しい時代に向かって着実に、そして順調に歩みを続けております。北陸新幹線の建設をはじめ、富山空港の拡充、高速自動車道の建設の促進等総合交通体系の整備に努めていくほか、雪を克服し、利用することにより「雪に強いいきいき富山」を築いていくための総合雪対策についても引続き積極的に推進してまいりたいと存じます。

また、県民総合運動公園の建設、県民ヘルスプランの策定やグリーンプランの推進、人生八十年の長寿社会や高度情報化、国際化時代への対応、新大学や県民総合博物館構想の確立、足腰の強いたくましい農林水産業、テクノポリスの中核となる高付加価値産業の振興・誘致等についても積極的に努力してまいりたいと考えております。

今年、兔の年でありますが、兔年は「飛躍の年」といわれております。私は、今年も県民の皆様とともに力を合わせ、「人づくり」「郷土づくり」「産業づくり」の三つの施策をすすめて、「活力と温かい心に満ちた美しいふるさと富山県」の創造をめざすとともに、二十一世紀をめざした県民の口マンともいいうべき日本一の「健康・スポーツ県」、「花と緑の県」、「科学・文化の県」の三つの目標に挑戦してまいります。

今年も県民の皆様が県政に対する深いご理解とご協力をぜひお願い申し上げますとともに、皆様のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げ新年のあいさついたします。



ソウル五輪へ期待の星

小野郁かおるさん



昨年ソウルで開催されたアジア競技大会の水泳女子百メートルを背泳ぎで二位(日本新記録)、四百メートルドレーリレーで優勝と大活躍した小野郁さんは大沢野中学校三年生。来年のソウルオリンピックに向けて飛躍が期待される水泳界のホープです。

小野さんが本格的に水泳をはじめたのは小学校四年生の時。「水の中で遊ぶのが好きだから」ということで富山市内のスイミングスクールに入校したのですが、「はいつてきた時はごく普通の女の子。ここまでこれたのは練習熱心と負け

ず嫌いの性格のおかげ(コーチの堂井先生)という小野さん。シーズンオフの今でも毎日四、五千メートルの泳ぎ込みとウエイトトレーニングは欠かしません。

実際、小野さんの記録が良くなってきたのは一昨年あたりから。日本室内選手権、世界選手権選考会、日本選手権と大会ごとに着実に力をつけ、そして昨年九月のアジア競技大会では一分五秒一一の日本新記録を出すまでにまりました。

でも小野さん自身、今の記録にはまだまだ満足していません。というのも、オリンピックに出場するには一分三秒台、入賞するには一秒台の記録がどうしても必要だからです。

練習がつらくて水泳をやめたいと思ったことも何度かあるそうですがアジア競技大会後は「まだまだやらなければいけない」という自覚も備わってきました。

「目標はソウルオリンピック出場、夢は入賞です。」という小野さん。「メダルは？」の質問には「夢の夢かな……」とにっこり。

大きな夢を正夢にするため、小野さんの挑戦はこれからも続きます。



いつまでも自己を保って

玉井三澄すみさん



「家庭科の授業では、ブラウス一着作るのにも何カ月もかかって、仕上がりはいつもビリ。先生に示かれてばかりいたんですよ。」と、懐かしそうに話す玉井さんは、能森服飾専門学校の三年生。今ではコートにスーツ、何でも作ってしまう。この日も手製の赤のスカートをはいていました。「やらなきゃならないと思えば何でもできますよ。」

このやる気で、「全国服飾学校ファッション画コンクール」で優秀賞に選ばれました。思ったままに自由なイメージで描いたという、のびのびとした作品です。東京での授賞式に行くと見ると、モノトーンは彼女ぐらいでカラフルな作品が多かったとか。とても刺激になったようです。

小さい頃からイラストを描くのが好きで、一生続けていけるような技術を身に付けようと思い、この学校に入りました。ファッションデザイン科で、イラスト、デザイン、洋裁などファッション全般を学んでいます。

「将来は、どうなるかわかりません。この道で食って行こうと思ったら、それこそ人生を賭けないといけません。並の努力ではダメです。コンクールに入賞したからプロになれると考えるのは甘いです。今は、とにかく勉強です。」卒業後も都会へ出て勉強を続けるそうです。そのうちに道が見えてくるのではないだろうか。

彼女のようなデザイン関係の卵はたくさんいます。「競争は激しいけれど、いつまでも自分を持って生きていきたいです。とにかく一生続けていきたいと思えます。」

努力の人、玉井さんは、しっかりと口調で答えられました。

魚津市本江の榊スギノマシン、この開発部
開発課の皆さんが研究開発した「圧力可変往復
動ポンプ（特許登録番号第一一七六六一四号）」
が昭和六十一年度中部地方発明表彰の特許庁長
官賞を受賞しました。

この発明が最初に特許として出願されたのは
昭和五十四年のこと、現在ではその当時のスタ
ッフも人事異動でけっこう入れ替わってはいま
すが、開発にかける意気込みは、以前にも増し
て盛んです。

スギノマシンと言えはよく知られているのが
水を噴射して合板や建材などを切断する「アク
アジェットカッタ」で、その際必要とされるの

が水の高圧力です。その水の高圧力を発生させ
るのが、この受賞の対象となった「圧力可変往
復動ポンプ」。これは以前のポンプの方式に比べ
装置の全効率が一五%近く向上しています。開
発課では、現在もこのポンプの改良改善と、ポ
ンプを利用した装置の開発に余念がありません。

開発課の皆さんには様々な開発テーマが与え
られています。テーマが与えられるとまずやる
のが、他の人が考案したアイデアや特許をコン
ピューターで検索すること。開発テーマに利用
できるものがないかと検討をすすめます。そう
やっているうちに自然と新しいアイデアが湧い
てくるとか。さて、こうやって会社の既存の技

術にアイデアを加えたら、新製品の開発に移り
ます。何回も試験をくりかえし改良を加えるこ
との連続です。その途中で新しいアイデアが出
れば、それも加えていきます。

「お金と時間をかけていいものができるのはあ
たりまえ。良いものを安く早くつくるのが最大
のテーマです。お金は部品の仕様を変えたりし
て何とかありますが、時間だけはどうにもなり
ません。製品開発は時間との勝負です」と開発
課の皆さんの声です。

既存の技術に 新しいアイデアが加わって

スギノマシン開発課



アクアジェットカッタで切った合板



21世紀への意識革命

公開討論会「とやまの21世紀を考える連続フォーラム」から

人口構成の高齢化、技術革新と情報化、
経済の安定成長化、豊かな社会の成熟化、
そして経済・社会活動の国際化など、現代
は、私達がかつて経験したことのない激し
い時代の潮流に翻弄されているといえます。
いつの時代でも未来を考えながら暮らし
ていくことは大切なことです。ことに今日
のような激動と混沌の時代においては、ま
ず、的確に将来を見通し、積極的に明日
の生活、社会を築いていくことが必要で
はないでしょうか。

そこで県では、一昨年来、昭和百年の富
山県を予測し、これからの県政のあり方を
考えてみよう、県の三、四十歳代の職員
による「とやま二十一世紀研究会」という
グループを作って検討を続けています。昨
年は、県内の若手オピニオンリーダーの参
加も得て、十月から十二月にかけて四回に
わたり公開討論会「とやまの二十一世紀を
考える連続フォーラム」を開催しました。
まずここでは、メガトレンド（時代の大き
な潮流）に関連した論議に基づいて、皆さ
んと一緒に富山県の近未来と私達の意識に
ついて考えてみたいと思います。



メガトレンド



今後、わが国経済社会の大きな変化が予測されます。まず、そのなかで最も基本となる変化（メガトレンド）とそれが富山県に与えると思われる影響について考えました。

〈高齢化社会の到来〉

富山県の人口は今後、百万人余りて推移し、あまり増加しないと考えられますが、問題は、人口構造の変化、高齢化社会の到来です。昭和九十年には、四人に一人が六十五歳以上の老人で占められるだろう（昭和五十五年は一人に一人）という予想もあります。このため、まず高齢化の進行の中で、雇用、医療、福祉などの問題が生じて、社会的な対処の方策が問われるでしょう。次に、現在、出産年齢にある女性が少なく、かつ出生率が低いこと、さらに高校卒業時点でかなりの若者が県外へ流出していることから、今後とも若者の定着を図るための教育、雇用問題に積極的に取り組む必要があるということです。

〈地域構造の変化〉

とから、国際競争力を強める努力が肝要であるといえます。さらに産業のソフト化に際して、第三次産業も伸ばし、今のような製造業に卓越した富山県から、幅広い産業に支えられた豊かで潤いある県としていかなければなりません。

〈価値観、生活様式の変化〉

今後、県民は物の豊かさよりも、文化や情報、サービスなどの心の豊かさを求めるようになり、家庭や個人の趣味を重視する人々も増えて、価値観は多様化することが予想されます。また、女性の社会進出はますます進み、労働時間の短縮、余暇時間の増大とあいまって、県民の生活様式も様変わりすると思われます。県民のニーズの多様化、高度化に対応する柔軟な社会組織への転換が大切であるといえます。

〈国際化の進展〉

これまでの貿易という形での「物」の国際交流に加えて、今後は人、情報、資本などの交流が進むことが予想されます。そして、国際化は、特定の国に限定せず、世界各国へ開いていることが大切です。個人々が様々な国際化することは自己実現の契機であり、社会が国際化することは新しい文化を創造することです。県民一人ひとりが積極的な国際化を図り、富山県を世界の富山県として飛躍させることは、富山県が地域間競争に生き

近年の情報化、国際化の進展により、東京だけに中枢機能が集中するようになり、東京と地方との格差が再び開く兆候があります。

今後、富山県が東京の機能を十分に活用するためには、高速交通網や情報網の整備を積極的に進めることが重要で、そして、ミニ東京を目指すのではなく、富山県らしい個性を持った地域づくりが大切だと考えます。もちろん、全国的に個性化を目指して地域間や都市間競争が激化するでしょう。この競争に富山県が生き残るためには、高度成長期の夢を追うことなく、富山県らしい未来へのシナリオを書き上げ、それに向けて努力していくことが欠かせません。

〈技術革新と経済構造の変化〉

かつて富山県は、生産性の高い米作りを中心とした農業と、豊かな水資源と電力を活かした工業によって高い所得を実現してきました。しかし、オイルショック後、主力であった素材型産業（アルミや繊維産業など）等は、大きな転換期を迎えています。今後は、社会発展の原動力ともなる技術の開発や技術革新に努め、産業構造の一層の高度化、知識集約化を図る必要があります。しかし、そこには高度技術者の不足と省力化による余剰人員の発生という雇用問題も予想され、配慮すべき点は多いと考えられます。また、産業の国際化が一層進展するこ

残るときの重要な鍵になるはずで



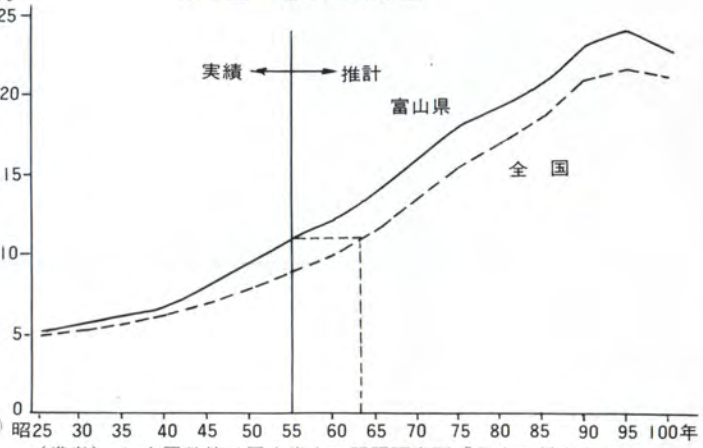
以上のように社会の変化の方向、問題点についてみてきましたが、それでは、私達は、この変化に適切に対応しようとしているでしょうか。

〈タテマエとホンネのくい違い〉

例えば、人口の高齢化について、子供をたくさん産むとか若者の県外流出を防ぐよう努力すればよいといわれていますが、現実には若い夫婦はかつてより子供を生まないことを選択していますし、大学進学を契機に次世代が東京等に転出する傾向も見逃せません。

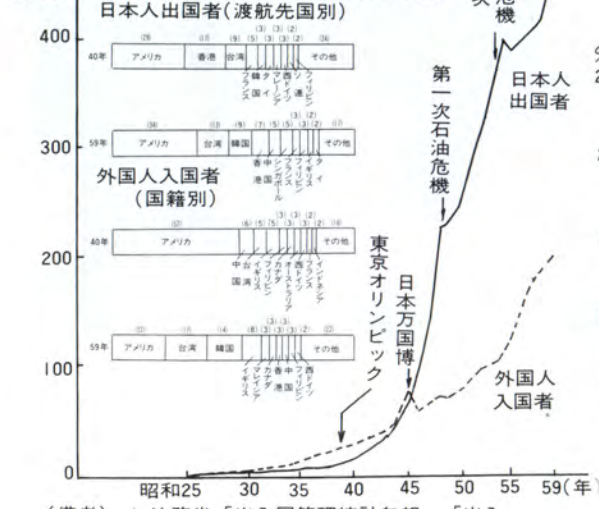
技術革新については、例えば一人ひとりがそれぞれの職場で、OA機器に積極的に対応しているでしょうか。また、産業構造の転換の中で、政府の助成や保護にのみ期待することなく、それぞれが自己革新の道を模索しているでしょうか。

第1図 老年人口比率



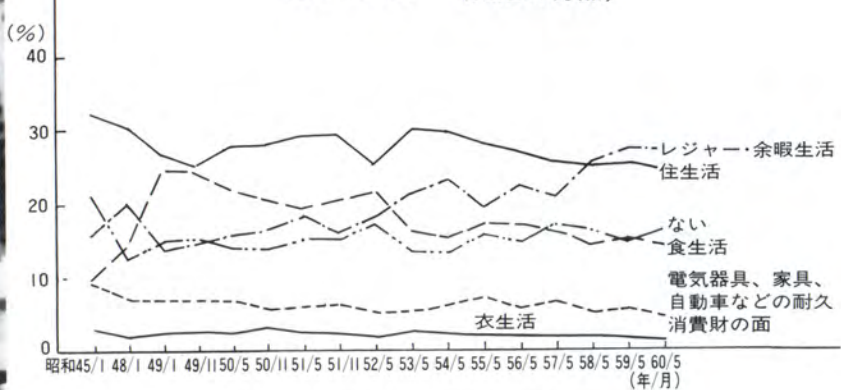
(備考) 1. 全国数値は厚生省人口問題研究所「日本の将来人口新推計」(S.56)による。
2. 富山県数値は21世紀研究会による推計である。

第2図 日本人出国者・外国人入国者の推移



(備考) 1. 法務省「出入国管理統計年報」、「出入国管理の回顧と展望」による。
2. 帯グラフは渡航先国別又は国籍別構成比で、()内は単位%である。

第3図 レジャー・余暇生活に力をおく人々が 増えている。(生活の力点)



(備考) 1. 総理府「国民生活に関する世論調査」による。
2. 「あなたは、今後、生活のどのような面に特に力を入れたいと思いますか」という問いに対する答えである。





※このフォーラムについての
お問い合わせは、県庁企画
調整室総合計画班まで。

生活様式の多様化についても、私達は
日々の生活を変え始めています。私達は
あるいは、仕事一辺倒の生活を心の豊か
さを大切に生活に転換しようとして
いるでしょうか。

国際化については、「旅の人」という言
葉のごとく、他県の人さえよそ者として
受け入れにくい土壌がまだ残っているの
ではないでしょうか。

〈パラダイム・シフト〉

もちろん、社会にはいろいろな考え方
の人がいて、また様々な行動を取る人
がいて当然です。その方が社会全体とし
ても活気がありますし、社会が誤った方向
に急速に進むことも防ぎます。です
から、このような個々人の意識、行動を
踏まえて、もう一度メガトレンドをどう
とらえるか考え直し、そして再度、自分
自身の日々の行動を自分なりに反省する
必要があるのではないのでしょうか。

最近、パラダイム・シフトという言葉
がよく使われています。これは、芸術や
思想全体の思考、発想の枠組みをまた
く新しいものと置き換えることをい
ます。天動説から地動説に転換するなどが
このよい例ですが、これから二十一世紀
へ向かって新たな環境を受け止めていく
には、まったく新たな発想が必要だとよ
くいわれていると聞きます。

視野を広めるためには何でもやってみ
ることが大切です。私達はこれまで富山
の雪をとかく疎ましいものとしてみてき
た（豊富な水資源としての価値はともか
くとして）と思います。しかし、雪祭り
などを企画し、またそれに参加しますと
雪は親しいものとなり、私達はまったく
違った考え方をいつの間にか持ち始め
ていることに気がきます。

国際的な体験も視野を広めるには効果
的です。最近では、国際演劇祭など富山
でも多くの外国人の人々と接触する機会が
増えました。こうした交流の中で、多様
なカルチャーショック（異文化との接触
による考え方の転換）を受け、新しい発
想が生まれつつあります。

一方、経済活動など既に国際社会にお
いても先取りして行動していかなければ
ない分野では、もう少し別の発想が必要
です。模倣ではなく、まったく新しいこ
とをやるためには、基本的には、各自が
一生懸命知恵をだし、汗をかきかあり
ません。そのために社会全体としては、
いろいろな考え方、行動をとる人を素直
に受け入れ、その中から新しい方策を創
造するという態度が必要なのではないで
しょうか。

〈未来への選択〉

よく、県民性についての議論がなされ
ます。富山県民は勤勉だとか積極進取と
かさまざまにいわれ、確かにそれは面白



多様性の受け入れ

これまで私達は、追いつき追い越せと
一生懸命働き、所得を上げ、暮らしを豊
かにしてきました。しかし、見習い追いつく
対象がなくなつた今、自ら生き方を
選択し、時代を切り開いていかなければ
なりません。今後の社会環境の変化に
対応していくために、どうしても各自が自
分の意識を変えていかざるを得ない面が
あるはずです。

〈意識を変えていくために〉

では、どのようにしたらうまく意識を
変えることができるのでしょうか。一つ
には、一人ひとりが多くの異質なものを
見聞きし体験することによって、視野が
広まり、意識も変わっていくことが考
えられます。もう一つには、いろいろな考
え方を持つ人、いろいろな行動をとる人
を頭から否定せず、それなりに受け入れ
ていくことによって次第に社会全体の意
識が変わっていくことです。

く、かつ富山県を考える一助にはなりま
すが、富山県の行く末を県民性で強く規
定してしまえば、本来富山県をリー
ドすべき人材は県外に出ていってしまう
のではないのでしょうか。

富山県の特徴として、住み良さがよく
取り上げられます。確かに、住宅をはじ
めとして多くの統計指標がそれを語って
います。しかし、翻って考えてみると、
これは富山県に生まれ、ずっと暮らして
いる人にとつて住みよい社会ということ
にすぎず、外から来る人にとつては、貸
家が十分あるかといったことをはじめと
して、暮らしにくい多くの面があるので
はないのでしょうか。

人と人との触れ合いの中でいこち
の良さをホスピタリティといいますが、
同質のもの同質の中でのホスピタリティ
とは全く違う、異質の者が集まる社会で
のホスピタリティというものがあるとい
うことに私達は気付く必要があると思
います。

新しい社会を迎えるべき時代に、異質
な行動をおこす者の足を引っ張ってい
ては地域は沈滞し、つぶれてしまいます。
多様な意識を持つ者たちが共同して何か
をやっていくことが、これからの時代には
大事です。そして、それには当然試行錯
誤が伴いますが、社会全体が自らの地域
の活動としてそのことを受け入れていく包
容力こそが必要なのではないのでしょうか。

発言

●これまでのライフスタイルは「よく働き、よく働く」とい
うことが支那的でした。これからは「よく学ばせ、よく遊ぶ」とい
うことが必要です。相互に学びあう、一人一人の能力を高める姿
勢が必要です。それは第三次産業の発展の契機ともなります。

●文化にかかわる意識変化は体験によって得られますが、経済活動
については周りに変化が来てしまっているから意識を変えても富山県は
すでに地盤沈下を起してしまっていることになりません。その前に
方向性を先取りする意識を持つことが大切です。ハイテク、ベンチ
ャービジネスを根付かせるには、県内の企業家精神を培っていか
なければなりません。

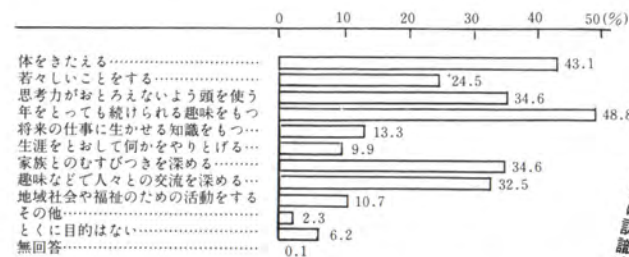
●富山県の優秀な先人は県外で活躍してきましたが、これは県内の
矛盾を外に向かって解決していったもので、富山県にとつては重大
な損失だったと思います。今後は郷土で育ち郷土で活躍する人物を
伸ばしていくことが大切です。出る杭は打たれるという発想では、
人は外へ出ていく。地元で活躍できるような意識作りが必要です。



●県民の意識改革とは、全員同じ方向に向かせるのではなく、い
んな価値観を持った人々が自由に生活できる環境を作っていくこと
です。利賀村は国際演劇祭を通じていろいろな人を受け入れていくこ
う意識が変わったのではないですか。富山県で一番意識が変わった
のは利賀村ではないかと思いませんか。富山県で一番意識が変わった
利賀村の子供たちは、外国人を見ても指差すという事はなくな
りました。また、雪についても初めは寒くていやがったのですが、
大人たちが雪祭りの雪像づくりに熱中している姿を見て、自分たち
から積極的に参加するようになり、やがて、体験することで意識は
変わりました。やはり、何か違う世界を
●最近、アメリカを中心に米の自由化について圧力が強くなって
います。このような国際情勢の中で米だけ聖域というのは疑問です。
富山県で作るより外国で作る方が安いというものは、疑問です。
考える場合には現在の世界経済情勢の変化を十分に認識する必要が
あると思います。

今後の余暇の使い方

〔質問〕あなたは、今後増えるとみられる余暇時間を、どのような目的
に使いたいと思いますか。次の中にあてはまるものがあれば、
3つまで○印をつけてください。



S 60 国民生活選好度調査／経企庁国民生活局



富山の畜産の牽引車

畜産試験場



牛の受精卵移植の説明を受けました



ここ畜産試験場では、家畜の飼養技術の改善、飼料作物の高位生産、バイオテクノロジーによる人工妊娠技術の実用化研究などの育種改良の試験研究を進めているそうです。

最初に案内されたのは、飼料試験室です。ここでは近赤外定量分析計による優良飼料作物の選定研究や高品質、高栄養粗飼料の高位生産技術の研究が行われています。この分析計によって家畜に与える飼料の水分やタンパク質などの栄養成分等を調べることが出来ます。なんとこの分析計の購入価格は千三百万円だとか。予想以上に高価なのは驚きました。

次は育種改良研究室です。研究内容は肉牛の群飼管理による繁殖技術の確立研究、人工妊娠技術の実用化研究です。

牛は通常、一年に一頭しか子牛を生むことができません。そこで研究されているのが、発育や肉質の良い牛を選んで人工的に排卵させ、その受精卵でたくさんの乳牛に子牛を生ませるといった技術です。また、この技術の応用により、たくさん乳を搾ることが出来る乳牛を作ったりおいしい肉を生産するための品種改良の期間を大幅に短縮することもできるそうです。

それではもう少し足をのぼして、あれっ、どこからか牛の鳴き声が……。
三十頭の牛と、本県で初めての受精卵移植によって生まれた和牛もいました。本当にかわいいのです。

次に見えてきたのが厚手のビニールシートの上の古タイヤを数十個置いたもの。この中には粗飼料が積んであって、発酵による粗飼料
等の研究を行っているそうです。
そこからちよつと歩いたところで見せていただいたのは、系統豚。昭和四十六年からこの試験場で十年間もの歳月をかけて選抜をくりかえし造成した豚です。豚は六十頭くらい飼育されており、牛の倍以上もいました。
最後はミニ動物園、ここにはいろんな種類の鶏や山羊、ポニーなどかわいい動物がいました。生き物がいるということは、労力もかかるし病気の心配もしなければならぬ、たいへんだなあと思います。それに建物が古いうえにたくさんあるので冬の除雪にも苦労するとか、多いときは年に三、四回も雪降ろしをするそうです。

畜産という分野は私にとつて初めて見聞きする世界、わからないことばかりで不安だったのですが、たいへん親切な説明に、だんだん興味も湧いてきました。
ミニ動物園では、かわいい動物たちがみなさんをお待ちしています。一度行ってみられてはいかがですか。だけど冬場は閉園していますから、雪が解けてからになりますね。

レポーター 栄 美由紀

★レポーター募集

「レポーターがやりたい」、「県政のあんな所こんな所が見てみたい」、このような方は、県庁広報課までご連絡ください。お待ちしております。

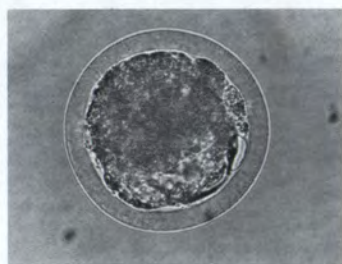
(☎0764(3)4111)



ミニ動物園の羊



系統豚



牛の受精卵

畜産試験場

上野町春日
☎0764(6)2245



Pin Up TOYAMA

ブリ分け神事

(魚読み神事)

幣殿正面の新筵（しんぜん）の上に、大晦日（おととし）のうちに塩（しほ）で清められた五本のブリが並べられる。宮司の祝詞（いのち）が始まると、宮番の「読み上げ役」がヒシを立て、頭上高くブリを持ち上げる。そして、「加ア茂オ…、小オ杉イ…」と、献納した集落の名前を読み上げる。

厄年と祝年の氏子たちが玉串を捧げた後、「切り役」が氏子の家の数だけブリを切り分ける。この切り身は餅と一緒に三方に載せられ、新年のあいさつとともに一戸一戸の家まで配られる。氏子たちは、夕食にこのブリを焼き、家族全員で食べて無病息災を祈る。

正月元旦 下村加茂神社



雪、みんなのテーマ

……昭和61年度総合雪対策実施計画の概要

いよいよ本格的な雪の季節の到来です。

雪合戦や雪だるまは、子供のころの楽しい思い出です。また、私達のくらしに様々な障害を与えてきたのも雪ですが、一方では、忍耐強い県民性を培い、豊かな水の源として利用されるなど、生活の多くの面で活かされてきました。

一年を通じて明るく、住みよい富山県を実現するには、積極的に雪と取り組み、もっと上手に雪とつきあっていく必要があります。

県では、「富山県総合雪対策条例」及び総合雪対策基本計画に基づき、雪に強いいきいき富山の創造をめざして、雪による障害の克服と雪に親しみ雪を利用する施策に総合的に取り組んでいます。

今年も、基本計画に掲げる整備目標の達成に向けて、総事業額五十七億一千五百万円（前年度比一六・九％増）の昭和六十一年度総合雪対策実施計画を策定し、この計画に基づき各般の施策を展開しているところです。ここでは、その概要をお知らせします。



雪害のないまちづくり

雪がもたらすさまざまな障害を克服する基本は、私達が生活する町や村そのものを雪に強くすることです。

① 雪に強いまちづくり

雪に強い都市計画道路のネットワーク化や流雪溝等の整備を行うほか、農村集落においては、生活環境の変化に対応した雪に強いものとなるよう整備を図っています。

道路については消雪工、流雪溝、スノーシエツド等の整備を更に進めるとともに、廃熱水利用による道路融雪システム（下水処理水を道路の消融雪に利用）や雪圧送システム（雪と水を攪はん装置により混合し、河川等へ圧送する）、バイオテクノロジー利用の消雪装置（おがくず、米ぬか等の発酵熱を利用した融雪装置の実験）の開発を行います。

また、雪に強い建築物を普及するため、富山の気候風土にあつた低コストの融雪住宅の研究開発や雪に強い住宅の建設、購入、改良の際の資金融資もすすめています。このほか、全天候型体育スポーツ施設の調査研究に着手しています。

② 交通の確保及び情報通信体系の整備

雪が降っても遅れない、円滑な公共交通体系の確立を目指していきます。バス路線の優先除排雪やバス停の無雪害化、信号機の縦型化、大型標識の整備など交通安全施設の整備を図ります。

また、雪についての情報を的確に把握するこ

とは、除雪、防災の面や冬期の諸活動の活性化を図るうえで重要なことです。市町村消防防災無線通信施設の整備、冬期における気象情報の収集提供、道路情報収集機器の整備を図り、雪情報通信システムの研究開発を行います。

③ 除排雪の推進

道路除雪については、昭和六十一年度道路除雪計画により、車道降雪の強化、歩道除雪の推進、雪捨て場の確保と整備等を基本方針として除排雪レベルの一層の向上につとめます。（道路除雪計画について、詳しくは本文十八ページをご覧ください。）

地域ぐるみの除排雪活動を促進するため、組織づくりや小型除雪機械の整備に助成するほか、無雪害まちづくり事業（パートIの施設整備及びパートIIの計画づくりを進めます）。

また、除排雪における水利用の面では、農業用排水路を冬期除雪に活用するための施設整備を図るほか、除排雪における各種水利用システムの研究開発（農業用排水路の消雪機能の活用研究、克雪用水利用システムの開発、既設都市下水路の除排雪利用調査）を行います。

産業の雪害防止

産業の雪害を防止し、雪に強い産業の振興を図っていかねばなりません。

雪に強い農林業の技術の研究開発として、スギ人工林の雪害防止技術の開発、多目的農林漁業用構築物の試作、スギの根元曲がりに関する育種的研究等を行っています。また、中小企業

す。みんなて、冬の魅力を楽しんでみませんか。県では、市町村や民間団体とも連携しながら、今年の冬も雪に親しみ雪を考えるいろいろなイベントを行います。

雪を利用した観光振興を図るため、冬のいきいき富山企画委員会」等の審議に基づく各種企画をはじめ、国鉄とタイアップしていきいき富山冬の旅観光キャンペーンを行います。

また、昨年、県民の皆さんから雪の処理方法や雪の利用方法についてアイデアを募集した「雪に関するアイデア」のなかから、楽しいもの、素晴らしいものの具体化、実用化にも取り組めます。

『雪の富山へ革靴をいらつしやい（いきいき富山のイメージアップを図るため冬季来県者に長靴を貸し出す）』をモデル的に富山空港で試行するほか、『雪の映画スクリーン（雪を利用して映画のスクリーンをつくり映写会を行う）』を一月のイベントの中で実施する予定です。また、雪を冷熱源とした冷房装置、ふれあい子供広場（雪を活かした公園づくり）などについても調査研究を進めていきます。

雪に対する新たな意識

克雪、利雪、親雪により雪に強いいきいき富山を実現するためには、私達一人ひとりが雪に対する意識を変革し、雪と積極的に取り組むことが肝心です。

県、市町村、県民みんなが一緒になって雪を考え、雪と取り組んでいきましょう。



者等が設置する、消融雪、除排雪設備に対する融資により雪に強い明るい地域づくりを進めています。

雪災害対策

豪雪になっても安全な暮らしを確保し、安心して生活できるように、富山県地域防災計画により、予防・応急・復旧の対策を万全なものにしていきます。なだれ防止対策として、なだれ防止柵等の整備となだれ防止に効果を発揮するなだれ防止林の造成を図っています。

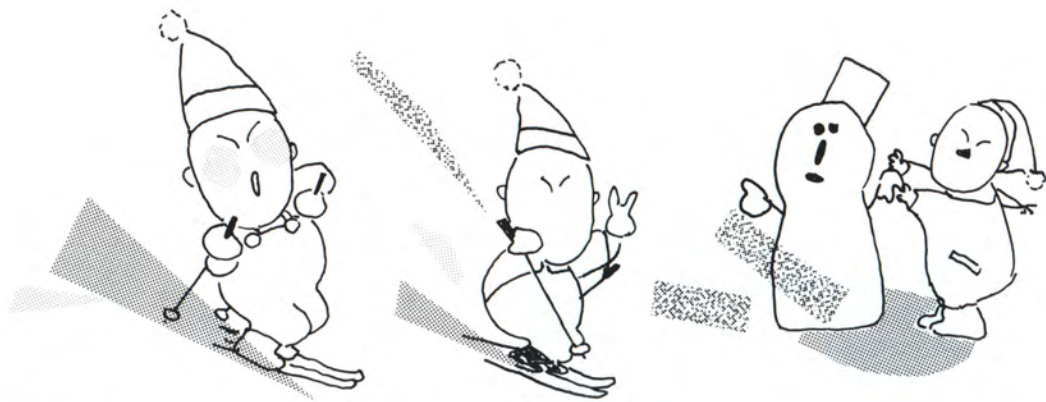
また、冬の消費生活安定のため、県内における生活関連物資（石油製品、日用品）の価格動向及び需給状況等を調査監視することによっています。



雪に親しみ雪を利用して

冬の富山を明るくいきいきしたものにすることは、私達一人ひとりがもっとも雪に親しみ、雪を利用することを考えなければなりません。

富山湾のカニ、ブリ等の味覚、白く化粧をほどこした立山連峰の景観、一気に斜面を滑り降りるスキー、冬ならではの楽しみがいっぱいで



富山冬のイベント

時 期		イ ベ ン ト	場 所・会 場	
月	日			
1	11	夢の平スキーフェスティバル	夢の平スキー場	
	15	雪のふれあい市 初 午 ゴンドラ誕生祭	富山市産業奨励館 利 賀 村 県営ゴンドラスキー場	
		14~2/1	とやまスノーピアード'87	富山市城址公園
		15~2/15	雪だるま親雪運動	小 杉 町
	16~18	いきいき富山日本海鍋まつり	高岡市古城公園	
	23~25	冬季県民体育大会(スキー・スケート)	立山町他	
	24・25	スノー愛ランドトヤマ冬のくらし'87 // シンポジウム'87	テクノホール //	
		25	井口雪まつり 雪まつりと町民の集い	井口小学校グランド 大沢野町文化会館
2	1	ちびっこ雪まつり	富山市・高岡市・魚津市	
		第2回冬季県民レクリエーション大会 「雪のシンフォニー」	太閤山ランド	
	5・6	雪のカーニバルに参加しよう	利賀村村営グランド	
	6~8	そば祭り	// 村営グランド他	
	8	ちびっこ雪まつり	砺波市	
	7・8	宇奈月温泉雪のカーニバル	宇奈月温泉街	
	8	歩くスキーフェスティバル	太閤山ランド	
	14・15	上平雪まつり	上平村総合グランド他	
	15	冬のふれあい市	小杉町社会福祉会館	
	21	いきいき富山自作ソリ競技大会	県営ゴンドラスキー場	
	21・22	ゴンドラ雪の祭典	//	
	22	オガサカ・ジュニアカップあわすの大会	栗巣野スキー場	
	28	極楽坂スキーフェスティバル	極楽坂スキー場	
3	21	カザマ・カップあわすのG・SL大会	栗巣野スキー場	
	22	極楽坂大回転競技大会	極楽坂スキー場	
	29	立山山麓ファイナルスラローム大会	県営ゴンドラスキー場	

総合雪対策基本計画の進捗状況

61.11.10

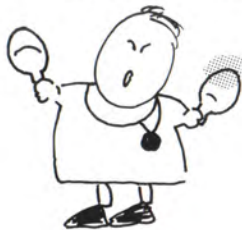
区 分	整 備 目 標	単 位	60年度末	61年度 計 画	目 標 (65年度)
第1章 雪害のないまちづくり	県管理に属する道路の改良率	%	77.5	79.3	86.0
I 雪に強いまちづくり事業の推進					
2 雪に強い道路整備	防雪施設				
	消雪装置延長	km	231	256	356
	流雪溝延長	km	50.4	52.5	63.0
	スノーシェッド・雪崩防止壁延長	km	12.3	12.9	16.2
3 雪に強い建築物の普及	雪に強い家づくり資金の新規融資枠	億円	13.6	13.6	13.6
II 交通の確保及び情報通信体制の整備	信号機の縦型化	基	295	328	447
2 交通規制等	大型標識の整備	本	2,850	2,970	3,964
	道路情報板	箇所	14	18	29
3 情報の提供及び通信体制の整備	県の新防災行政無線市町村の //	市町村数	13	14	完成 23
III 除排雪の推進	県管理の道路除雪延長	km	2,154.7	2,155.1	2,168.0
I 道路の除排雪	歩道除雪延長	km	161.7	219.0	221.0
	県保有機械	台	175	192	235
2 地域における除排雪	小型除雪機械	地区数	40	60	140
	農業用排水路の整備	km	11.8	21.3	63.7
第2章 産業の雪害防止	中小企業消融雪設備等設置促進資金の新規融資枠	億円	1.83	1.64	2.0
2 商工業対策					
第3章 雪災害対策	雪崩防止林の造成	ha	1,105	1,111	1,143
2 雪崩防止対策	雪崩防止施設の整備	ha	0.1	4.9	11.1
第4章 雪の利用の促進等	冬期野外活動指導者の養成	人	238	281	420
I 雪に親しむ機会の増大					

みんなのまちは みんなので除雪

……今冬の除雪計画

雪を克服し、快適な冬を過ごすためには道路の除排雪が肝要です。

県では、今冬も道路除雪計画を策定しています。そして、過去の豪雪等の教訓と今まで集積された除排雪のノウハウを活かし一層の除排雪の推進に務めることにしています。



また、民間保有機械については、常時三百四十六台を借り上げるほか、豪雪時に備え随時協力可能な機械としてさらに六百十四台を確保し、万全の対応ができるよう配慮しています。

雪寒対策施設の整備

市街地、人家連担部、橋梁、交差点等で、機械除雪のネックになっている箇所について消雪装置の整備をすすめています。今年度は、二十五・〇キロ設置し総延長二百五十五・九キロがその効力を発揮してくれそうです。
住民参加による除排雪推進のための流雪溝については、昨年に比べ二・一キロ延長され、五十二・五キロが整備されています。
また、スノーシエッド、なだれ防止柵等の設置による、安全な冬期交通の確保を図っています。

ご協力下さい

このように、県では除雪態勢の強化に務めています。作業を円滑に行うためには、皆さんのご協力が必要です。

- ① 路上駐車車の自粛
路上駐車は除雪作業の最大の障害となります。狭い雪道、除排雪に支障となる路上駐車車は絶対にやめて下さい。
- ② 自宅前道路の除雪
自宅前歩道や細い路地などについては、皆さんの積極的なご協力をお願いします。

今冬の除雪区間は 2155・1キロ

除雪路線が適切なネットワークとして確保されるよう県だけでなく、国、市町村等の道路管理者とも緊密に連携し、実施します。今冬の除雪計画延長は二千五百五十五・一キロで、これは県管理道路延長の九〇・四％に当たります。
その際、公共交通の十分な確保を図るため、バス路線等重要路線の優先的確保につとめ、運搬排雪、交差点除雪、凍結防止剤散布の強化に務めます。ことに交差点除雪については、交差点の堆雪による交通渋滞を緩和するため、県内百三十カ所の主要交差点を対象に作業体制の特別強化を図り、除排雪に務めます。
なお、県の除雪車が出勤する基準は、原則として新しい降雪が十センチ以上となったときです。

歩道除雪

学校、保育所等への通学路や歩行者の多い駅、主要なバス停、その他公共施設等への歩道を重点とし、安全な歩行者空間の確保を積極的に推進します。
歩道設置延べ延長の三〇・二％にあたる二百十九・〇キロを地域住民の皆さんの協力を得ながら実施することとしています。

地域ぐるみ除排雪

地域における除排雪の推進については、地域住民の皆さんの自主的な共同除排雪活動が円滑かつ効果的に実施されるよう、市町村とも連携を図りながら積極的に進めます。今冬においては、県内十一カ所において、官民一体となった地域ぐるみ一斉除排雪を実施することとしています。

また、県では、地域ぐるみ除排雪活動推進のため一小学校区を単位として、小型除雪機械の購入に補助を行っています。
詳しくは、市町村役場へご連絡ください。

除雪機械の整備

除排雪の水準向上のためには、除雪機械の整備が欠かせません。
除雪機械のうち県保有機械については、本年度十七台の増強を行い、計百九十二台とし、整備強化を図っています。県では、民間保有の少ないロータリ除雪車、除雪トラック、大型グレーダを重点として整備を進めており、拡幅除雪、運搬排雪や圧雪除去などにもきめの細かい対応ができるよう計画しています。特に大型グレーダについては、昭和五十九年度に実施した『高効率圧雪除去機械の開発』の研究成果をいかし、昨年度に引き続き四台導入しました。このうち二台には、本県で初めてシャッターブレードを装着し交差点除雪が効果的に行えるよう配慮しています。

③ 地域ぐるみ除排雪

県土木事務所や市町村においては、一斉除排雪日を設け地域ぐるみの共同除排雪を実施します。地域の皆さんの積極的な参加をお願いします。

④ マイカー使用の自粛

降雪時には、道路事情も悪化します。公共交通機関の利用をお願いします。

⑤ 道路への雪だし

屋根雪等の路上への投雪は、自粛ください。また、町内会などの一斉降雪ろしをする場合は、あらかじめ市町村役場や最寄りの土木事務所へご連絡下さい。

⑥ 流雪溝等の計画的な使用

流雪溝の無秩序な使用により、しばしが水が

道路除雪の問い合わせ

あふれトラブルが発生することがあります。流雪溝等の使用は、地区相互であらかじめ話し合い、計画的に行ってください。

除排雪作業を行うために、通行規制や通行止めを行うことがあります。この道路情報についてはラジオやテレビで随時お知らせします。さらに詳しくは道路交通情報センター（☎0764-3212223）へお問い合わせください。
また、県の除雪する道路についての問題点等があれば、所管の土木事務所の道路維持係までご連絡ください。

県土木事務所へご連絡ください

土木事務所名	所管区域	連絡先
入善土木事務所	黒部市、入善町、朝日町、宇奈月町	〒939-06 下新川郡入善町上野字八幡11473 ☎0765(72)1133
魚津土木事務所	魚津市、滑川市	〒937 魚津市新宿10の7 ☎0765(24)5311
立山土木事務所	富山市の常願寺川以東舟橋村、立山町、上市町	〒930-02 中新川郡立山町前沢2359の5 ☎0764(63)1101
富山土木事務所	上記以外の富山市、婦中町、山田村、八尾町、大沢野町、細入村、大山町	〒930 富山市舟橋北町1の11 ☎0764(41)2551
高岡土木事務所	高岡市、新湊市、砺波市、大門町、小杉町、大島町、下村	〒933 高岡市赤祖父211 ☎0766(21)9411
氷見土木事務所	氷見市	〒935 氷見市朝日丘9の24 ☎0766(74)0949
小矢部土木事務所	小矢部市、福岡町	〒932 小矢部市今石動町2の13の1 ☎0766(67)0262
福野土木事務所	城端町、平村、上平村、利賀村、庄川町、井波町、井口村、福野町、福光町	〒939-15 東砺波郡福野町寺家330 ☎0763(22)3524

利賀村



1月15日、初午

からくり玩具に愛を見た

キツキが木を突き、うさが餅をつく。月夜の晩にたぬきが輪になって踊り、スズメがクルクル回る。きつつき工房には、楽しいからくり玩具がいっぱいだ。断っておくが、これは単なるオモチャではない。利賀で生まれ、利賀で育ち、利賀の匂いにする郷土玩具である。

きつつき工房の主、中谷仁太郎さん(64)がからくり玩具を作り始めたのは十五年ほど前だ。第一作は、木挽人形。棒を引くと、木こりがこぎりで丸太をひく。林業を生活の糧としていた中谷さんの姿そのものだ。「とが」の羽織を着、よく見ると顔もそっくりだ。

中谷さんの作る玩具は、軸の一本一本にまで注意が行き届いており、頑丈である。そしてムダがない。一つ作るのに何度も試作を重ねた成果だ。県外にわしの真似して作った物があるけど、滑りが悪かったり、すぐ壊れたり、形だけ真似てもダメやわ。中谷さんのからくり玩具には、木肌の良さと木のぬくもりを大切に、昔からの手仕事と、利賀という村を愛する中谷さんの心がこもっているのである。

中谷さんは時々小学校へ作り方を教えに行く。からくり玩具はずっと受け継がれて行くだろう。



中谷仁太郎さんとからくり玩具



子供達の豊蚕祈願

正月十五日、利賀の山々は、深い雪に覆われ、静まりかえっている。オヤツ、雪をかき分けかき分けチビツ子の一団がやってくる。そりいのハチマキにハッピにわらくつ。家の戸をくぐる。「払いたまえ清めたまえ
高まが原く
かしこみかしこみ申す」

神主に扮した子が大黒柱に向かって祝詞をあげる。と、馬が乗り込み、太鼓の音と子供達の歌声が後を追う。
「乗り込んだく
お馬が乗り込んだ
蕨はようたつ糸値は上る
家の旦那は身上なおす」

そして、俵を転がして踊る。蚕の増収と豊作と家内安全を祈願するのだ。

これは、初午と呼ばれ、百八十五年以上前から行われており、全て子供達の手で実施される全国的にも珍しい行事である。

利賀といえは合掌造り、合掌造りといえは養蚕。かつては利賀の経済を支えていた養蚕だが、今ではやっているのは三軒だけ。それでも子供達は自主的に集まって練習し、三軒もの雪をかき分け祈願してくれる。もちろん御祝儀も自主的に山分けた。子供達は、ホクホク顔。今年も豊作まちがいなし。

山の神様が食べた御幣たち

昔むかし、ある所におじいさんとおばあさんがおりました。おじいさんは山へ炭焼きに、お



民宿のおばさん(笠原さん)

ばあさんも山へ炭を担ぎに行つて暮らしておりました。今日は初釜で、炭山の天井上げをした二人はおナカがベコベコ。御幣もちを炭で焼いて食べましたとさ。

という話があったかどうかは知らないが、御幣もちが飛騨高山だけではない。ここ、利賀にだってちゃんとあるのだ。

もともと御幣もちが山の神様のごちそう。年に一度、初釜の時にだけ山で食べたそうて、家では食べなかつたという。そのせいか、今では作られることは滅多にない。そこで、民宿のおばさんに頼んで作ってもらった。

炊いた御飯をすりばちでつぶし、棒にくっ付ける。それを炭灰の上で焼き、キツネ色になったらミソを付けてまた焼く。あとは、火傷をしないように気を付け食べるだけ。秘伝のミソがとてまろやか。黒焦げになつてもまたおいしい。

御幣もちを食べたい人は、そば祭りへどうぞ。今年も二月六、八日に、雪祭りと同時に行われる。どぶろくも飲める、ホットな祭りだ。

利賀村の概況

人口 1,309人
(昭和60年国勢調査)
面積 176.38平方キロメートル

標高500メートル、平家の落武者伝説で知られる利賀村だが、世界演劇祭の開催などにより、芸術の村として世界に名を知られるようになった。自然休養村、少年自然の家、民俗館などの施設も充実しており、史跡も多い。自然と歴史と芸術とが融合し、もはや過疎の面影はない。





11月17日

富山県円高対策協議会

冬のいきいき富山企画委員会

11月19日

富山県高度情報化推進会議

11月22日

中部の伝統的工芸品まつり



11月25日

中部圏知事会議
(高岡市で開催)



11月26日

県民生活安定対策特別委員会
青少年育成富山県大会



11月27日

富山県長期水受給計画委員会

11月28日

富山県海洋総合利用研究会

11月29日

ナイスハートキヤンペーンキャラバン隊出発式

知事と農業青年婦人との懇談会



12月2日

新しい産業基盤施設の整備に関する委員会

12月3日

雪害対策連絡会議

12月4日

工業技術センター研究推進委員会
生活関連物資取扱業界と消費者との懇談会

12月5日

12月定例県議会
(12月13日)



12月14日

第三十八回愛の年末児童大会

12月15日

県営コンドラスキー場開き

住宅情報

【優良物件案内】

● 県営住宅入居者募集

今年富山市内で新築した下富居団地と富山、新湊、太閤山地区の既存の団地の入居者を募集します。

◆ 問い合わせ先

富山県住宅供給公社 (☎0764(32)5131)

● 太閤山住宅団地の宅地分譲

ゆとりあるマイホームづくりをお求めの方には最適です。

◆ 二区画平均面積 / 三百三十平方メートル

◆ 分譲価格 / 四万六千円 / 平方メートル

◆ 問い合わせ先

太閤山住宅団地建設事務所 (☎0766(56)0221)

【資金融資案内】

● 富山県特別住宅分譲制度

富山県住宅供給公社の分譲住宅で、雪に強い住宅仕様のものを購入する場合などに適用される制度で、住宅金融公庫の

融資額が割増されるなどの特典があります。

● 優良宅地取得資金

県、または住宅供給公社が造成した住宅団地の宅地を購入される方への資金融資です。

◆ 融資限度額

二百五十万円

◆ 償還期間

二十年内

◆ 融資利率

五・七五パーセント

● 住みよい家づくり資金

雪に強い家づくり、住みよい家づくりのお手伝いをする富山県住みよい家づくり資金の融資条件が大幅に改善され有利になりました。

◆ 融資限度額

新築 三百二十万円

改良 二百万円

◆ 償還期間

新築 二十年内

改良 十年以内

◆ 融資利率

年五・七五パーセント

※住宅資金融資について詳しくは、富山県住宅供給公社(☎0764(32)5131)へお問い合わせください。

募集します

● 花と緑のキャッチフレーズ

「日本一の花と緑の県づくり」にふさわしいキャッチフレーズを募集します。

◆ 応募方法

はがきにキャッチフレーズ、住所、氏名、年齢、電話番号、職業を明記

◆ 応募期限

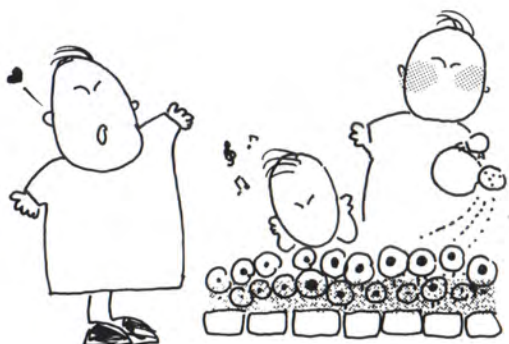
一月十九日(月)

◆ 応募先

県庁農林管理課内「花と緑キャッチフレーズ係」

◆ 発表

四月中旬(入選者には直接通知)



ご存知ですか

● ウッドリウム富山木工教室

【日曜大工教室】

◆ 日時 / 一月十八日(日) 午前九時

◆ 製作物 / マガジンラック

◆ 材料費 / 七百元

【園芸のための木工教室】

◆ 日時 / 一月二十四日(土) 午後一時

◆ 製作物 / 盆栽手入れ台

◆ 材料費 / 八百円

※詳しくは、ウッドリウム富山(☎0766(56)1570)へ。



ご利用ください

● 文化・スポーツ産業

施設整備資金

文化、芸術、スポーツ等に係る施設の整備に必要な資金の貸付けを行っています。

◆ 貸付対象

1月 街頭献血日程

日	曜	場 所	時 間
4	日	運転教育センター	9:30~15:45
5	月	中新ショッピングセンタ前	10:00~15:30
8	木	小矢部市役所前	//
10	土	富山駅前 高岡駅前	10:00~16:00 //
11	日	富山西武前	10:00~16:00
15	木	富山西武前 高岡駅前	// 10:00~15:30
17	土	高岡駅前 富山駅前	// 10:00~16:00
18	日	富山市中央通り	//
24	土	富山駅前 高岡駅前	// 10:00~15:30
25	日	高岡駅前	//
26	月	新湊市役所前	//
31	土	富山駅前 高岡駅前	10:00~16:00 10:00~15:30

北陸路、無事故でつなごう
ゆく年・くる年
年末・年始の交通安全県民運動
二月十日

● 博物館、多目的ホール、カルチャーセンター等の文化芸術関連施設
● 運動競技、遊園施設等のスポーツ関連施設

◆ 貸付条件

● 限度額 / 二千五百万円
● 利率 / 年五・〇パーセント以内
● 詳しくは、県庁商工振興課へ。

おたより

近頃、農山村の嫁飢饉は深刻であり、三十歳を過ぎた未婚の男性が沢山います。なおこの風潮は農山村以外にも波及しつつある様です。三十歳を過ぎた未婚の男性五人に対し、結婚を希望する女性一人と言われています。特に女性が少ない訳ではないのですが。

富山県の出生率の低下も不安材料の一つだと思えます。特に女児の出生が少ない様です。これは大変難しい問題であり、なかなか妙案もありません。うまが、うまく解決できないものでしょうか。

県政モニター提言より抜粋



■おたよりください。

☎九三〇 富山市新総曲輪一番七号

富山県庁広報課

「広報とやま

おたより」係まで

見てください 聞いてください

新聞広報

- ・北日本、富山、読売、北陸中日
毎週第2土曜日
「県からのお知らせ」
毎月最終土曜日
「みんなの県政」
- ・朝日、毎日
毎月第2、最終土曜日
「県からのお知らせ」

テレビ広報

- ・北日本放送
毎週日曜日 AM8:00~8:30
「こんにちは富山県です」
- ・富山テレビ放送
毎週日曜日 AM9:00~9:30
「110万人のひろば
—クイズフォーカスイン—」

ラジオ広報

- ・FMとやま
“ふれあいホットライン”
県内各地からホットな話題を
クリアなサウンドでおとどけ
します
毎週月~金曜日 AM9:30~9:35

各種相談窓口のご案内

県政については

- ・県民相談室 富山市新総曲輪1-7(県庁内)
☎(0764)31-4111代
31-3131(県民電話)
- ・高岡地方県民相談室 高岡市赤祖父211(総合庁舎内)
☎(0766)21-9411
- ・魚津地方県民相談室 魚津市新宿10-7(総合庁舎内)
☎(0765)24-5311
- ・砺波地方県民相談室 砺波市幸町1-7(総合庁舎内)
☎(0763)33-5151

消費生活については

- ・消費生活センター
富山市安住町7-18
安住町第一生命ビル内
☎(0764)32-9233
- ・消費生活センター高岡支所
高岡市本丸町7-1
本丸会館内
☎(0766)25-2777

暴力・サラ金などについては

- ・困りごと相談所
警察本部防犯少年課
☎(0764)33-8080
- ・覚せい剤・サラ金相談
警察本部生活保安課
☎(0764)41-8904
- ・暴力団ゼロ110番
警察本部捜査第二課
☎(0764)42-0110
このほか各警察署でも受け付けています。

編集後記

★取材に訪れた日、利賀村は真白でした。初雪という有難い歓迎を受けたのです。五段染めとはいかないけれど、四段染めくらいにはなるかと車窓の雪景色を楽しみながら上った道に雪の量は次第に多くなってきました。運転手さんは「帰りが心配だなあ。あんまり遅かったら置いて行くぞ。」

平野へ戻るといい天気。しばし美しい幻想を見ていたような感じでした。雪のない所から雪国へ遊びに来た人は、こんな気分なのでしょうかと、呑気なことは言ってられない。毎日毎日雪との格闘。今日も雪に負けずガンパロー!

★スギノマシンの「アクアジェットカッタ」は本当によく切れます。現在、水に砂を混ぜることによって、金属板やコンクリートまで切ることができるよう。日頃、原稿用紙と向き合って生活している者にとって、技術の進歩をまざまざと見せつけられた気がします。

国鉄魚津駅前にある「うまい水」は、国文学者で洗足学園魚津短大の教授も務めた故池田弥三郎氏の提案で作られたものです。自然石を庭園風に配し、傍らには

「ほんとうに魚津は水がうま空気もうまい
長生きしたけりや魚津において
うまい空気に水がある」

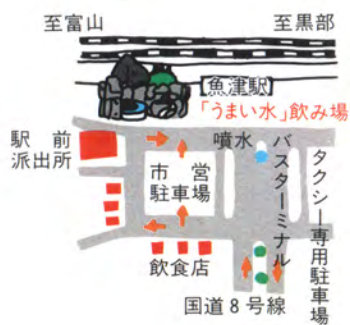
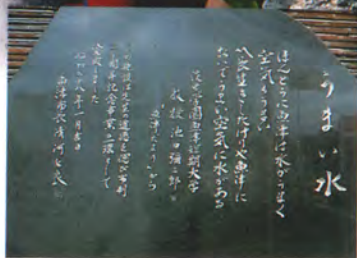
と教授自作の都都逸を刻んだ石碑が建っています。この水は北アルプスの北端、毛勝山の大雪渓を源とする片貝川の伏流水で、水温は四季を通じてちょうど飲みごろの十二度。豊かでおいしい水に恵まれた魚津市のシンボルとして、旅行者や市民に利用され親しまれています。

シリーズ③

とやまの水

魚津駅前の

「うまい水」



富山県立近代美術館/12月20日(土)～1987年2月1日(日)

わたしたちの壁画'87

開館時間：午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日：月曜日、祝日の翌日

近代美術館を子どもたちに解放する「わたしたちの壁画」第6回展。今回も、県内の小・中学校とセーナー苑分校の児童・生徒が、学校ごとに共同制作した27点の大作が展示されています。

子どもたちの限りない創造性をぜひあなたの目と心でたしかめてください。



「リズムー音・光・わたしたちの夢」 富山県立しらとり養護学校 セーナー苑分校小・中学部生

会期中のもよし/みんなでつくろうーゆめの空中ランドー/1月15日
アニメーション上映「ゆきちゃんのこんにちわ」/1月10日・11日
映画上映「青空くんと7人の仲間たち」/1月17日・18日

学校名	制作学年	作品名
富山市立浜黒崎小学校	1年	むしのくにへいってあそんだ
砺波市立砺波東部小学校	2年	ひまわりのはたけで
富山市立水橋西部小学校	4年	春祭り(浦安の舞い)
高岡市立中田小学校	4年	稲かり
富山市立寒江小学校	4・5年	自然がいっぱい
富山市立愛宕小学校	5年	富山駅から見た2000年の駅前
朝日町立南保小学校	1～6年	みんなで泳ごう
八尾町立野積小学校	1～6年	自然は友だち「野づ美の里」
新湊市立中伏木小学校	1～6年	庄西子ども獅子
氷見市立角間小学校	1～6年	ぼくたち角間っ子
平村立下梨小学校	1～6年	春祭り
小杉町立橋下条小学校	1～6年	みんなで踊ろうバンブーダンス
立山町立日中上野小学校	4～6年	お祭り
氷見市立上余川小学校	4～6年	親子のつどいーもちつき大会ー
魚津市立本江小学校	5・6年	思い出はみんなの手で
氷見市立宇波小学校	5・6年	古代大境洞窟の人々

出品校と作品

学校名	制作学年	作品名
宇奈月町立下立小学校	6年	おんぞろ こんぞろ
黒部市立東布施小学校	6年	ふしぎな遊園地
上市町立陽南小学校	6年	みこし火渡り
細入村立猪谷小学校	6年	蟹寺のカニバケ
高岡市立国吉小学校	6年	10年後のわたしたちへ
高岡市立中田中学校	1・2年	豊かな移田野
富山市立東部中学校	1～3年	人類の未来
氷見市立西條中学校	1～3年	時を越えて
小矢部市立津沢中学校	1～3年	左義長
城端町立城端中学校	1～3年	城端町の未来
富山県立しらとり養護学校 セーナー苑分校	小学部・中学部	ーリズムー音・光・わたしたちの夢